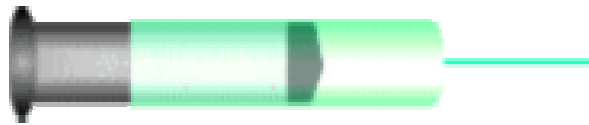


血液検査結果の見方



著者 :ゲン

ブログ :健康ナビゲータが案内！病気に成り難い身体を創る旅

<http://positivehealth.seesaa.net/>

メルマガ :間違った情報に流されず、本当の健康を手に入れる

<http://www.mag2.com/m/0000255080.html>

はじめに

こんにちは。健康ナビゲータをしていますゲンといいます。

この度は、無料レポート【血液検査結果の見方】をダウンロードしていただきありがとうございます。

さて、皆さんは年に何回くらい血液検査を受けるでしょうか？

多くの人は、健康診断や献血などで年に1回以上は受けているのではないのでしょうか。

しかし、血液検査の結果を見てGOTやGPT、GTPなどアルファベットと数値が羅列してあるだけで、『何がなんだか？』と思っている人がほとんどではないのでしょうか？

そこで、このレポートでは血液検査項目について説明していきます。

注意事項

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者は一切の責任を負わないことをご了承願います。

レポート内容の利用に関する最終的な判断は、全て自己責任の上でのご利用をお願いいたします。

目次

はじめに	2ページ
注意事項	3ページ
1 赤血球数 <RBC>	5ページ
2 ヘモグロビン量 <Hb>	5ページ
3 ヘマトクリット値 <Ht>	6ページ
4 赤沈 (赤血球沈降速度)	6ページ
5 白血球数 <WBC>	7ページ
6 白血球像 <分画>	7ページ
7 血小板数 <Plt>	9ページ
8 GOT	10ページ
9 GPT	10ページ
10 ALP	11ページ
11 LDH	11ページ
12 LAP	12ページ
13 - GTP	12ページ
14 血清総タンパク <TP>	13ページ
15 A/G比 (アルブミン/グロブリン比)	13ページ
16 膠質反応 (ロイト反応)	14ページ
17 ビリルビン <TB>	15ページ
18 血清アミラーゼ	15ページ
19 尿素窒素 <BUN>	16ページ
20 クレアチニン	16ページ
21 尿酸 <UA>	17ページ
22 空腹時血糖	17ページ
23 総コレステロール <T cho>	18ページ
24 HDLコレステロール	18ページ
25 中性脂肪 (トリグリセリド)	19ページ
編集後記	20ページ

血液一般検査

1.赤血球数 <RBC> Red Blood Cell

血液に含まれる赤血球の数です。

赤血球は肺から酸素を受け取って、血流に乗って全身に運びます。

赤血球数は、貧血の診断に用いられます。

正常値	異常を示す主な病気
男性 :400~ 500万個 / mm ³	低い 鉄欠乏性貧血、悪性貧血、巨赤芽球性貧血など
女性 :350~ 500万個 / mm ³	
	高い :多血症、血栓症

2.ヘモグロビン <Hb>

血液中のヘモグロビンの量です。

ヘモグロビンは血液の赤い成分で、酸素や二酸化炭素の運搬をしています。

ヘモグロビンの量を測ることで、血液の酸素運搬機能が推測できます。

また、貧血の診断にも用いられます。

正常値	異常を示す主な病気
男性 :13~ 17g/ dℓ	低い :貧血
女性 :12~ 16g/ dℓ	高い :多血症

3.ヘマトクリット値 <Ht> または <Hct>

全血液中に占める血球の割合です。

血球とは、血液中の細胞成分のことです。大きく分けると赤血球と白血球に分かれますが、血球のほとんどは赤血球なので、ヘマトクリット値は赤血球の濃度とほぼ同じです。ヘマトクリット値は、貧血診断には不可欠です。

正常値	異常を示す主な病気
男性 :39~ 52%	低い :貧血
女性 :34~ 46%	高い :多血症、脱水症状

4.赤沈 （赤血球沈降速度 ）

赤血球がくっついて塊になる速度です。

赤血球の濃度、血漿中のタンパクにより異常な数値が現れます。

正常値	異常を示す主な病気
男性 :1~ 7mm/ h 女性 :3~ 11mm/ h	低い :多血症、異常ヘモグロビン症、 アレルギー疾患、急性肝炎、 慢性肝炎など 高い :感染症、心筋梗塞、高度の 貧血、進行中のがんなど。

5.白血球 <WBC> White Blood Cell

血液中に含まれる白血球の数です。

白血球は、外部から体内に侵入した異物の排除をします。

白血球数は、感染症、炎症、血液疾患の有無などの診断に不可欠です。

正常値	異常を示す主な病気
4500~ 9000/ μ	低い :薬剤アレルギー、再生不良性貧血、自己免疫性疾患など 高い :感染症、白血病、敗血症など

6.白血球像 <分画>

白血球の形態異常、あるいは種類の偏りを調べます。

白血球は、好中球、単球、好塩基球、好酸球、リンパ球の計5種類

白血球像は、感染症など病気診断の手がかりになります。

正常値	異常を示す主な病気
好中球 : 40~ 60%	(好中球)
単球 : 4~ 10%	低い :敗血症、結核など
好塩基球 : 0~ 1%	高い :扁桃炎、肺炎、骨髄炎、脳炎、
好酸球 : 1~ 5%	白血病など

リンパ球 : 30~ 45%	<p>(単球)</p> <p>高い 水痘、麻疹など</p> <p>(好酸基球)</p> <p>高い :骨髄増殖性疾患、じんましん など</p> <p>(好酸球)</p> <p>低い :アレルギー疾患、寄生虫疾患 など</p> <p>(リンパ球)</p> <p>低い 悪性リンパ腫、がん、白血病 など</p> <p>高い 梅毒、結核、百日ぜき、 バセドウ病など</p>
----------------	---

7.血小板数 <Plt> Platelet

血液中の血小板の数です。

血小板は、出血したときの血が出るのを止める役割を担っています。

また、動脈硬化で血管が細くなったところに、血栓を作ってしまうのもこの血小板が原因です。

正常値	異常を示す主な病気
15~ 40万個 / mm ³	低い :特発性血小板減少性紫斑病、 急性白血病、再生不良性貧血、 肝硬変など 高い :慢性白血球、多血症、鉄欠乏 性貧血など

血液生化学

8. GOT (G l u t a m i c O x a l o a c e t i c T r a n s a m i n a s e)

血液中の GOT (グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ) の量です。

GOT は、アミノ酸の造成を促す酵素で、心臓、肝臓、骨格筋、腎臓に多く含まれています。これらの臓器の細胞に異常があると数値が上がります。

正常値	異常を示す主な病気
35 U/ 以下	高い : 急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、肝硬変、心筋梗塞

9. GPT (G l u t a m i c P y r u v i c T r a n s a m i n a s e)

血液中の GPT (グルタミン酸ピルビン酸転移酵素) の量です。

GPT は、GOT 同様、アミノ酸の造成を促す酵素で、肝臓に最も多く含まれています。特に肝細胞の変性や壊死に敏感に反応するため、肝機能障害の早期発見ができます。

正常値	異常を示す主な病気
35 U/ 以下	高い : 急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、アルコール性肝障害

10 . ALP A lkaline Phosphatase

エネルギー代謝に関わる酵素 ALP(アルカリフォスターゼ)の量です。

ほとんどの臓器に含まれていますが、特に肝臓、骨、小腸、腎臓、胎盤に

多く含まれています。この数値を調べることにより、肝機能 (1)や

骨疾患 (2)を推定することができます。

正常値	異常を示す主な病気
3~ 10KAU	高い :急性肝炎、慢性肝炎、胆石、 胆道がん、骨疾患

(1)ALPだけでなくGOT ,GPTが高いときは肝臓、胆道の病気

(2)ALPだけのときは骨の病気が考えられます。

11 . LDH Lactate Dehydrase

糖の代謝に関わる酵素 LDH(乳酸脱水素酵素)の量です。

あらゆる臓器に含まれていますが、特に肝臓、心臓、赤血球、筋肉に多く

含まれています。

これらの臓器が損傷すると血液中に LDHが漏れ出し、値が高くなるので

肝臓病、心臓病、血液の病気、悪性腫瘍などの病気発見に役立ちます。

正常値	異常を示す主な病気
200~ 400 U/	高い :急性肝炎、慢性肝炎、心筋梗塞、うっ血性心不全、肝臓がん 悪性貧血、急性腎不全

12. LAP Leucine Aminopeptidase

たんぱく質の代謝に関わる酵素 LAP(ロイシンアミノペプチターゼ)の量です。

肝臓や膵臓、胆道などに障害があると血液中に漏れ出てきます。

正常値	異常を示す主な病気
30~ 80 U/ 以下	高い 胆炎、肝硬変、肝臓がん、 胆道結石、胆道がん、膵炎

13. - GTP Glutamyl TransPeptidase

たんぱく質を分解する酵素 - GTP(グルタミルトランスペプチダーゼ)の量です。

胆道疾患や肝細胞が破壊されたとき血液中に出てきます。特に、アルコールの摂取に敏感に反応するので、アルコール性肝障害の診断に用いられます。

正常値	異常を示す主な病気
50 U/ 未満	高い 急性肝炎、慢性肝炎、 アルコール性肝炎、肝臓がん、 急性膵炎、慢性膵炎など

14.血清総タンパク質 < TP > TotalProtein

血液（血清）中に含まれるタンパク成分の総和です。

肝機能や腎機能の障害により代謝異常が発生すると値が変動します

正常値	異常を示す主な病気
6.5~ 8.0 / dl	高い 栄養不良、肝臓障害など 低い 栄養過多、多発性骨髄腫

血液を試験管などに入れて放置しておくことができる、上澄み液です。

15. A/G比 (アルブミン/グロブリン比)

血清タンパクの6~7割を占めるのがアルブミン 残りがグロブリンです。

血清総タンパク質が正常でも、アルブミンの減少がグロブリンの増加によって隠されていることがあります。

例えば、肝硬変はアルブミンの合成が減少しますが、グロブリンが増加する

ため TP(血清総タンパク)ではわからないことがあります。

正常値	異常を示す主な病気
1.2~ 2.0	低い :ネフローゼ症候群 ()、肝硬変、多発性骨髄腫、慢性感染症、膠原病

ネフローゼ症候群とは、大量のタンパク尿が出て、血中タンパク質が減り、全身がむくんだり、コレステロールや中性脂肪などが増える病気です。

16. 膠質反応 (ロイド反応)

血清中のタンパク成分の構成比の変動を表します。

肝臓機能に異常がないか調べる検査です。

正常値	異常を示す主な病気
TTT(チモール混濁試験): 0~ 5U	高い :急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、肝硬変、高脂血症、膠原病
ZTT(硫酸亜鉛試験): 4~ 12クンケル単位	

17. ビリルビン < TB > Total Bilirubin

赤血球が分解されできる色素ビリルビンの量です。

ビリルビンは肝臓でタンパク質と結合し、胆汁となります。

ビリルビンが血液中に多くあるということは、肝臓に障害があり、うまくタンパク質と結合できていないこととなります。

正常値	異常を示す主な病気
総ビリルビン 0.2~ 1.2mg/ dℓ	高い :黄疸、肝臓病、胆石、溶血性貧血、甲状腺機能低下症

18. 血清アミラーゼ

膵臓で作られる、でんぷんを分解する酵素アミラーゼの量です。

膵臓に障害が生じると、壊れた細胞からアミラーゼが血液中に漏れ出し値が上がります。

正常値	異常を示す主な病気
60~ 190U/ dℓ	高い 急性膵炎、慢性膵炎、膵臓がん、耳鼻腺炎

19.尿素窒素 < BUN > B bod Urea Nitrogen

血液中に含まれる尿素窒素の量です。

尿素窒素とは、エネルギーとして使われたタンパクの燃えカスが、肝臓で合成されることができる物質です。尿素窒素は腎臓でろ過されて、尿中に排泄されますが、肝臓、腎臓に障害があると血液中に漏れ出し値が上がります。

正常値	異常を示す主な病気
8~ 20mg/ dℓ	低い :肝不全 高い :慢性腎炎、腎不全、尿路疾患、脱水症、消化管出血

20.クレアチニン

血液中のクレアチニンの量です。

クレアチニンは、筋肉運動のエネルギー源となるアミノ酸の一種クレアチンが代謝されたときにできる物質です。

腎機能に障害があると血液中の量が増えます。

正常値	異常を示す主な病気
男性 :0.8~ 1.3mg/ dℓ	低い :筋ジストロフィー症
女性 :0.5~ 0.9mg/ dℓ	高い :腎機能障害、尿路閉塞

21.尿酸 <UA> Uric Acid

通風の原因となる血清中の尿酸の濃度です。

尿酸とは、プリン体（ ）を代謝したときに出来る物質です。

通常、尿酸は老廃物として尿と一緒に排泄されますが、腎臓がうまく機能していないと排泄されず、血液中の濃度が高まります。

また、プリン体を含む食物を食べすぎたときにも値が高くなります。

正常値	異常を示す主な病気
7.0mg/dℓ	低い :腎臓での再吸収障害、妊娠 高い :通風、多血症、白血病、溶血性貧血、陣機能障害

プリン体とは、細胞内にある遺伝に関わる核酸という物質の成分です。

多く含む食品は、レバー、白子、いわし、えびなどです。

22.空腹時血糖

空腹時の血液中のブドウ糖の量です

炭水化物が消化器官で分解されると、ブドウ糖になります。

ブドウ糖は、膵臓から分泌されるインスリンというホルモンにより細胞内に取り込まれ、エネルギー源となります。

正常値	異常を示す主な病気
70~ 109mg/ dℓ	低い :インスリノーマ、甲状腺機能低下症 高い 糖尿病、急性膵炎、肝硬変

23.総コレステロール <T cho> Total-Cholesterol

血液中のコレステロールの量です。

コレステロールは、細胞膜、神経、ホルモン、ビタミンDの材料、血管の保護など体に不可欠のものですが、過剰になると動脈硬化など多くの病気の原因になります。

正常値	異常を示す主な病気
120~ 220mg/ dℓ	低い 肝硬変、栄養障害 高い 高脂血症、動脈硬化、糖尿病

24.HDLコレステロール

血液中に含まれる HDL コレステロールの量です。

コレステロールには、LDL (悪玉) コレステロール、HDL (善玉) コレステロールの2種類があります。

HLD コレステロールとは、体であまったコレステロールを回収する働きがあります。ちなみに、LDL コレステロールは、肝臓から体内で必要とする箇所にコレステロールを運ぶ働きがあります。

正常値	異常を示す主な病気
40~ 70mg/ dℓ	低い :動脈硬化、高中性脂肪血症、 高血圧症、糖尿病、心筋梗塞 高い :高 HDL血症

25.中性脂肪 (トリグリセリド)

血液中の中性脂肪の量です。

中性脂肪はエネルギーの貯蔵、体温を一定に保つための断熱材、衝撃から内臓や骨を守るクッション材など重要な役割を果たしていますが、たまりすぎると動脈硬化が促進されます。

正常値	異常を示す主な病気
40~ 130mg/ dℓ	低い :慢性肝障害、栄養不良など 高い :高脂血症、肥満、アルコール 性肝障害、脂肪肝、高血圧、 糖尿病など

編集後記

最後まで読んでいただきありがとうございます。

『血液検査結果の見方』はいかがでしたでしょうか？

血液検査について理解を深める一役を担えたらうれしく思います。

さて、このレポートをダウンロードしていただいたあなたを、私のメルマガ

‘間違っただ情報に流されず、本当の健康を手に入れる’に代理登録させていただきます。週に1回健康に関する情報を出しています。

ぜひ一度、中身をご確認の上、購読の継続を検討ください。

ブログ：健康ナビゲータが案内！病気に成り難い身体を創る旅

<http://positivehealth.seesaa.net/>

メルマガ：間違っただ情報に流されず、本当の健康を手に入れる

<http://www.mag2.com/m/0000255080.html>

それでは、またブログ、メルマガでお会いできることを楽しみにしています。

ありがとうございました。